



クラスで取り組んでいること

食事について
☆お皿に手を添えて食べる
☆姿勢を正して食べる
☆ご飯粒を最後まで集めて食べる

お家でも取り組んでみて下さい。

今月の聖句

「野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。」
(ルカによる福音書12章27節)

今月の賛美歌

♪ ぱらぱらおちる

- 1.ぱらぱらおちる あめよ あめよ
ぱらぱらぱらと なぜおちる
かわいたつちを やわかにして
きれいなはなを さかすため
2.きらきらひかる ほしよ ほしよ
きらきらきらと なぜひかる
たびするひとが くらいよにも
まよわずみちを いけるため

今月の歌

- ♪ だからあめふり
1.きのうみどりの かえるがね
おおきなはっぱの うしろでね
おてんきつづきで かなわんと
そらに おいのりしたんだよ
★だからきょうはあめふり だからきょうはあめふり
2.きのうとなりの あじさいが
すっかりよいを ととのえて
そろそろあたしも さきたいと
そらに おいのりしたんだよ
★くりかえし

クラスで『ちくちくとふわふわ』の絵本を読みました♡ちくちくことば=悲しい言葉、ふわふわことば=嬉しい言葉。自分とは違う考えの子と集団生活を送る中で、思い通りにならず、ちくちくことばを言う時もあると思います。しかしそんな時は「自分が言われたらどうなのかを考える」、「ちくちくことばをふわふわことばに変身させてみる」ということを伝えました。具体的に子どもたちと話す中で、「水道で遊んだらダメ！」という言い方より、「手洗ったら代わって！」「お水無くなったら大変だよ！」の方がふわふわに近いねという結果が生まれたりもしましたよ♡すぐに実践することはもちろん難しいですが、心のどこかに記憶し、どこかで思い出してくれたら嬉しいなあと思います♡



折り紙で手裏剣を作って、遊んだよ！



こうやってやんねんで！やってあげようか...？



椅子に乗ったら、入りそうー！

あるお友達の「手裏剣作りたい！」の声をきっかけに、あっという間にクラスは手裏剣ブームに！(ペットボトルのキャップ積みのブームは一度過ぎてしまいました(笑))好きな色の折り紙を使って、手裏剣づくりに挑戦しました！手裏剣が完成すると、忍者のように投げて遊ぶ姿があったため、「的を作って、そこに投げて遊んだらどう？」と提案。すぐに「いいかも！」と独自の的を作り、的に向かって投げて遊ぶ子もいましたよ♡もっと他に、的のように楽しめるものがあれば...と、輪っかを作り、天井からぶら下げてみることに！すると、何度も何度も手裏剣を投げ、「入ったー！」「一番上のやつは入らへんー！」とゲームのように楽しんで遊んでいました。中には、1つの手裏剣を投げるのではなく、沢山の手裏剣を一気に投げて、入る確率が上がるように遊ぶ子や、高く届かないから...と考え、椅子の上に立ち挑戦する子もちらほら...！出来ないから諦めるのではなく、どうしたら出来るだろうと試行錯誤し、チャレンジする姿がありました♡輪っかに投げて遊ぶ様子を見てると、上に投げたつもりが、偶然下のカゴに入った時も大喜び！「じゃあ今度は、床に入れ物を置いて、投げてみよう！」と、点数の書いたケースを準備！遊んでいるうちに、次は子どもたちが、廃材や折り紙を使って「ここは0点」「100点も作りたいー！」とまた遊びが広がっていきました！毎日、手裏剣を持って帰っては、また持ってきて...と手裏剣を使って沢山遊ぶことができました♡

カプラでお家づくり



ある日の降園前のわずかな時間を利用して、カプラで遊ぶことに。「お風呂が作りたい」と声があったため、私を含む数名で、円の形に積み上げることにチャレンジ！少し高くなってくると、「すごーい！やってみたい！」とあっという間に遊びの輪が広がり、皆で協力する姿がありました。2日目も続きをしていると、いつの間にか子どもの身長を超えたカプラの塔。すると、「お家みたい！」と屋根作りも始まりました！途中で、1人の子が転んでしまい、屋根が崩れ、下に穴が開いてしまった時があったのですが...。わざとじゃないが申し訳なさそうにしている子を見て「大丈夫！またやったらいいやん！穴が開いてドアみたいになったな！〇〇くんナイス！」と、励ますように声を掛けてくれる子がいました。相手の気持ちに寄り添う力が育ってきているのだと感動しました... (涙) そんな声掛けもあってか、その後も多くの子が入れ替わりながら積み続け、子ども達の手が届かなくなったところは、手伝い完成♡皆で一生懸命作ったことで、完成した時は大喜び！頑張りを認め合い、達成感に溢れているようでした。お家の中に入ると、秘密基地のような感覚ですごく幸せそうに遊ぶ子どもたちでした♡

クレパスの自由画

模造紙に、クレパスを使って描く活動をしました。子どもたちと一緒にクレパスの使い方を確認してからスタート。好きな色を自分で選択し、思い思いに描くことを楽しみました！縦や横の動きから、少しずつ曲線が書けるようになってきたり、なんとなくこれを描いたのかなあと分かるものも増えてきたり、1人ひとりの成長を感じます。中には、「これは虹！」と様々な色を使って描いた絵の上から、次は真っ黒に塗りつぶす子が。何故だろうと、思わず声を掛けてみると「今、雷落ちてきてん！」と。大人の価値観で絵を見ると「素敵なお絵だったのに、上から塗るのは勿体ない」等と捉えてしまいがちですが、子どもたちがありのままの表現を楽しむこと、そして、その姿を認めてあげることの大切さに改めて気が付きました。子どもの話を聞いてからもう一度絵を見てみると「だから虹は滑らかな線なのに対し、黒の線は雷っぽくギザギザなんだね」「雷のときは雨が降るから、周りには雨のように水色で線を書いたのかなあ」等、色々な思いが伝わってきました。また、この活動を通して、線を描くだけでなく、描いた枠の中を塗りつぶしたり、線を指でこすってみたり、点を描いてみたりと、クレパスの様々な使い方に気が付き、知ることが出来ました！

手にも色がついたー！

